

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

## 事業名 健康増進広報活動費補助金（医整）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医事係 電話番号：058-272-1111（内2526）

E-mail：[c11229@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11229@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 700千円（前年度予算額：700千円）

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	700	0	0	0	0	0	0	0	700
要求額	700	0	0	0	0	0	0	0	700
決定額	700	0	0	0	0	0	0	0	700

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨（現状と課題）

県民の健康に対する関心が高いが、専門家による正しい知識の普及が重要であるため、保健衛生に対する意識の向上や疾病に関する知識の普及を目的として県医師会が行っているラジオ番組（医師等の専門家による病気の予防法や治療法の紹介）の放送に対して補助を行う。

## (2) 事業内容

## 【補助対象者】

一般社団法人 岐阜県医師会

## 【補助対象事業】

ラジオ放送（岐阜放送ラジオ）

タイトル：ラジオ・ホームドクター

放送時間等：毎週2回、各7分間

放送形式：収録したものを放送

(3) 県負担・補助率の考え方

定率補助（1／2）、ただし700千円を上限  
岐阜県公衆衛生向上対策事業費補助金交付要綱

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	700	ラジオ放送費、謝礼金等に対する助成
合計	700	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第7期岐阜県保健医療計画

○第3部 第1章 医療提供体制整備の基本方向

- ・医療の適正な利用や知識の普及に向けた県民への啓発の推進

(2) 事業主体及びその妥当性

健康に関する事業は、医療関係団体と連携して進めることが効果的である。

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	健康増進広報活動事業費補助金
補助事業者（団体）	一般社団法人 岐阜県医師会 （理由）保健衛生に対する意識の向上や疾病に関する知識の普及を行う最も適した団体である。
補助事業の概要	（目的）健康に対する正しい知識の普及啓発を図る。 （内容）岐阜県医師会が行っているラジオ番組の放送に対する補助
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率 1/2、予算額が上限 （理由）事業の公益性に鑑み、県の積極的支援が必要
補助効果	県民の保健衛生に対する意識の向上や疾病に関する知識の普及を行い、健康増進に寄与する。
終期の設定	令和 4 年度 （理由）終期が未設定で、事業開始から既に 5 年以上が経過しているため

(事業目標)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">県民の健康に対する正しい知識の普及啓発を図る。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2 年度	R3 年度	R4 年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R4)	
① 講演会、健康セミナー等の開催日数		週 2 回	週 2 回	週 2 回	週 2 回	100%
②						%

	H30 年度	R 元年度	R2 年度
補助金交付実績	700 千円	700 千円	700 千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年を通して週2回放送を行い、県民の保健衛生や疾病に対する意識の向上が図られた。</li> </ul>
	指標① 目標：週2回 実績：週2回 達成率：100%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 2	健康であることに対する県民の意識は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満)</li> </ul>	
(評価) 2	健康保持、疾病予防、疾病の早期発見等について、医師が説明を行うことにより、正しい知識の普及に寄与する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	健康に関する事業については、関連団体と連携して進めることが効果的である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が直面する課題や改善が必要な事項 疾病予防、疾病の早期発見等についての県民ニーズを把握し、ニーズに応じた事業を実施する必要がある。</li> </ul>
---

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 週2回のラジオ放送により、県民の健康増進及び疾病予防の啓発が図られた。県民の健康に寄与する事業であるため、継続すべき事業である。</li> </ul>
--